

ヒューリック将棋会館千駄ヶ谷ビル完成

ヒューリックが東京都渋谷区で開発を進めていた「ヒューリック将棋会館千駄ヶ谷ビル」が完成した。建物はS・RC造地下1階地上4階建て延べ約1万5000平方メートルの規模。JR千駄ヶ谷駅都営大江戸線国立競技場駅から徒歩2分という立地にある日本将棋連盟の将棋会館が移転。2〜4階は賃貸オフィスで、ファッション・アパレルアイテムの企画・仕入および販売を行うユニテッドアローズが全フロア一括で入居する。設計・施工はともに大成建設が担当した。

施主インタビュー

ヒューリック株式会社

開発事業第二部 参事役 外松 浩一氏

——開発の経緯についてお聞かせください。
本事業は当社が保有していた千駄ヶ谷センタービルの老朽化とテナント退去に伴う建替計画です。JR千駄ヶ谷駅、都営大江戸線国立競技場駅から徒歩2分というアクセス良好の立地と4500㎡を超える大規模な敷地という特性を生かし、オフィス・店舗ビルを計画しました。

また長年将棋の聖地として親しまれてきた日本将棋連盟の東京・将棋会館が老朽化のため移転先を探していたこともあり、同じ千駄ヶ谷に位置する本計画1階を「新将棋会館」として計画を推進しました。竣工後に1階の大部分を将棋連盟が取得し、当社との共同所有建物として運用を開始しています。

千駄ヶ谷の新たなシンボルに

——施設の特徴は。
上記のとおり、4階建ての本建物の1階は新将棋会館です。将棋文化継承の核となる施設であり、会館の一角には将棋道場、ショップ、カフェを併設した店舗「棋の音」がオープンしました。将棋ファンだけでなく将棋に触れたことのない方まで、多くの方々に親しんでいただける施設です。

2〜4階は賃貸オフィスフロアとなります。大規模敷地を生かし希少性高い基準階最大900坪超の大型フロアプレートを実現、多様なレイアウトにも対応可能です。特徴的な外周部の斜め柱は杉板をまとい、必要保有水平耐力の1.5倍を確保した高い耐震性能を実現するだけでなく、千駄ヶ谷の緑豊かな街並みとの調和を図っています。その他、自然光を取り込み開放感あふれる吹抜け屋内階段や、優れた環境性能が評価されZEB Ready認証を取得したことも特徴です。

——完成に寄せた思いを。
近隣の皆さま、設計・施工および協力会社の皆さまをはじめ多くの方々のご協力に深く感謝いたします。将棋連盟創立100周年の2024年9月という記念すべき時に竣工した本建物が新たなスタートを切り、「将棋のまち」千駄ヶ谷の新たなシンボルとなることを願っています。

視認性・利便性に優れた複合ビル



共用部



オフィス



アプローチ

設計コンセプト

街並みのスケール感と調和

計画地は、東側に東京体育館、国立競技場を望み、西側に大学や住宅街が広がる、多様なスケールの建物が集積した場所です。こうした街並みと調和した、駅前立地にふさわしい新たなランドマーク建物を目指しました。

外観は水平方向に伸びやかな表情をつくる横連窓とし、ホルバーを付与することで陰影を持たせた水平強調のデザインとしました。外壁には4パターンの特殊塗装を施し、ランダムな表情を積み上げることで圧迫感を軽減しています。地名の由来である「千駄の萱」で編まれた巣を思い描く外観は、利用者を心地よく包み込み、道行く人々に親しみの持てるスケール感の建物としました。

1階の将棋会館は、日本将棋連盟創立100周年事業として、同区内に建つ将棋会館の機能を移設したものです。対局室数を増やし、道場・カフェ・売店の併設により機能を拡充。東京らしさ・将棋らしさを表出した内装デザインにより、将棋文化発展に寄与する空間を目指しています。

上階の事務所は、コア内に吹き抜けのあるオープンな階段を設け、トップライトから自然光が優しく差し込む明るい共用部となっています。屋上には緑豊かなテラスがあり、都心に居ながら自然を感じられるウェルネスな環境を演出しました。

大成建設株式会社 設計本部 建築設計第一部長 渡邊岳彦



エントランス

■ 工事名称	:(仮称)千駄ヶ谷センタービル建替計画
■ 工事場所	東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目18番5号
■ 発注者	ヒューリック株式会社
■ 設計	大成建設株式会社一級建築士事務所
■ 監理	大成建設株式会社工事監理一級建築士事務所
■ 施工	大成建設株式会社東京支店
■ 敷地面積	4,529㎡
■ 建築面積	3,607㎡
■ 延床面積	14,977㎡
■ 階数	地下1階、地上4階
■ 階構造	S造・RC造
■ 主要用途	事務所、店舗、駐車場
■ 工期	2022年10月3日～2024年9月2日

工事概要

施工のポイント

現場は複数の駅に近接し、周辺には多くの文化・教育スポット拠点が集積しています。人が集まる場所が多いだけに、特に第三者災害防止を徹底し、安全最優先で工事に臨みました。敷地は津田塾大学様と接しており、試験時の騒音振動やプライバシーにも最大限配慮しました。

ロング梁で無柱大空間確保

現場は複数の駅に近接し、周辺には多くの文化・教育スポット拠点が集積しています。人が集まる場所が多いだけに、特に第三者災害防止を徹底し、安全最優先で工事に臨みました。敷地は津田塾大学様と接しており、試験時の騒音振動やプライバシーにも最大限配慮しました。

大成建設株式会社
作業所長 村瀬 崇文

写真提供：大成建設